

株式会社ミナケア

医療関連分野

実施期間  
2018~2020年度

実用化開発場所  
いわき市

# 医療データを積極的・戦略的に活用し、投資型医療という新しい仕組みを創造する

事業計画

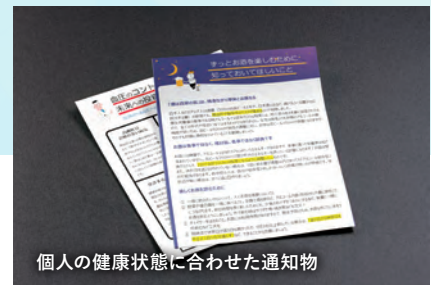
医師不足地域に対応した、医療データの活用による予防型医療プラットフォームの開発および実証事業



福島県健康投資支援システム



保険者と個人をつなぐスマートフォンアプリ



個人の健康状態に合わせた通知物

## 事業概要

医療データの活用と、保険者・医師会・その他の担い手の連携によって、健康合理性・経済合理性の高いヘルスケアサービスを提供したいと考えています。病気になってからではなく、「病気にさせない仕組み」と「多職種連携による効率的な健康づくり」が必要です。そのための共通基盤とアプリケーションを充実・強化し、検証および実証します。

## 事業化への道のり

福島県には「人口の減少」「生活習慣病での死亡者多数」「深刻な医師不足」という3つの課題があります。特定健診実施率は全国的に見ても決して低くないのですが、その後必要な情報を得たり、また適切なタイミングで受診するなどの行動につながっていない方が多いようです。本事業で開発するシステムでは、保険者の有する健康関連データを取り込み、解析することで、各人の健康状態・受療状況を把握し、保健事業の支援とその効果検証を行い、また個人向けにはスマートフォンアプリによって保険者とつなぐことで情報の共有・連携機能などを提供したいと考えています。

### ▶イノベ機構による支援 ※福島イノベーション・コースト構想推進機構（イノベ機構）によるイノベ構想関連開発技術の事業化支援（本冊子P.120を参照）

他社の競合サービスと差別化するためのアドバイスや、より充実させていくために必要な機能のリサーチ等々についてご支援いただきました。また、福島県内の各自治体や県内の保険者とのマッチングにご尽力いただき、その御縁が今後さらに広がっていくことを期待しております。そこから派生して、関連する勉強会の開催や、事例共有のお話をさせていただく機会の創出などについてもご相談させていただいているところです。

### ▶今後の展望

全国的に高齢化と医師不足という医療需給のミスマッチが起きていく中、福島発のイノベーションによって解決策を提案していきたいと考えています。保険者が保有する医療リソースを有効活用することで医療費の利用効率をあげ、また健康で長く働く人が増加するという面から地域産業の活性化を目指します。



代表取締役社長 山本 雄士

## 株式会社ミナケア

100-0004  
東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビルディング 6階 642

創業 2011年2月  
従業員 40名  
TEL 03-6262-5311 (代表)  
URL <https://www.minacare.co.jp/>

